



越前和紙の手漉きを体感。
伝統産業支援で、サステナビリティに貢献！

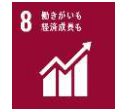
みんなの投稿

投稿者

寿精版印刷 和紙開発プロジェクト

最終公開
日時

2023.02.24



■越前に訪問

福井県の越前市に、「紙の神様」を祭る『大瀧神社』をプロジェクトメンバーが参拝。

1500年前、紙祖神「川上御前」様が、この里に紙漉きの生業を伝えました。1984年には、国の重要文化財に指定されました。



■手漉き和紙を体験

越前では手漉き和紙の紙料として、楮、三桮、雁皮に清水を加え、トロロアオイでネリを混ぜて抄造します。海外原料が多いですが、今回は国産の雁皮を使用し抄造します。



紙漉きも重要ですが、原料の汚れを洗い、ゴミを取り除き、綺麗な紙料にすることが抄造の重要なポイントです。



自然の恵から生み出される「越前和紙」。漉き始めは早く、最後はゆっくりと揺らすのが特徴です。



1500年前から、変わらぬモノづくりに励み、古いものをそのまま使うのではなく、時代に合った価値を加えて進化しながら、未来につなぐ伝統工芸文化へと、大切に受け継がれています。

